

森林を生育場所とする絶滅危惧植物の保全

森林を主な生育地とする植物のうち、22種についての保全研究の結果、自生地において永続的に生存してゆくためには、どのような手だてが必要かを明らかにした「手引き書」を作成しました。

植物を絶滅に追いやる原因

- 1 林地の開発や人間による採取
ナツエビネ、クマガイソウなど5種
- 2 森林の手入れの中止による
光環境の悪化

薪炭材が不要になったので、定期的に伐採する習慣がなくなった。その結果、林の中が暗くなり、明るい開けた場所がなくなったので、明るい場所を好む植物が生存できなくなった。また、開花結実も阻害されるようになった。

トサノミツバツツジなど13種 生育場所の消失

後継樹が定着できる場所の不足

シリブカガシ、サラサドウダンなど6種 他種との競合

クリンソウ、サラサドウダン、キクガラクサ

3 シカなどによる被害

サラサドウダン、ニシキウツギなど7種

ランク	木本植物	草本植物
A		クリンソウ、ナツエビネ
B	シリブカガシ、サラサドウダン、オオイタヤマゲツ、ヨコグラノキ、コウヤミズキ、アカヤシオ	クマガイソウ、キクガラクサ
C	メグスリノキ、タマミズキ、ムクロジ、ナツアサドリ、コヤスノキ、ニシキウツギ、センリョウ、ヤブウツギ('95第1次)、トサノミツバツツジ	カタクリ、エビネ、チトセカズラ

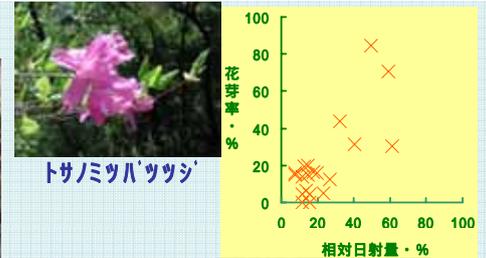


ナツエビネ



トサノミツバツツジ

林床のシリブカガシ稚樹
(相対照度2%)



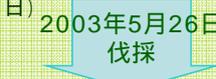
サラサドウダンの稚樹とチマキササの
繁茂およびシカによる剥皮害

現地保全技術の開発

1 林の中を明るくする



伐採前(2003年4月23日)



伐採後(2004年4月20日)

トサノミツバツツジ



クリンソウ

2005年6月15日
刈り取り



刈り取り後(2005年8月30日)

オカタラコウの刈り取り前(2004年)

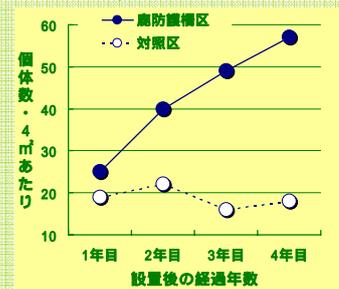
2 競争相手を除いてやる

3 動物による被害を防ぐ

カタクリ



鹿防護柵の設置(2000年6月)



4 新たな定着・繁殖場所をつくる

5 交配相手となる個体数を増やす

成果の活用

研究成果をまとめた「貴重植物保全の手引き」を作成しました

行政、地域住民、NPO団体などが行う保全活動に技術的な支援を行っています



サラサドウダン保全の研究会



県民参加によるニシキウツギの植栽(2004年10月)



シリブカガシ林の間伐